

【発行元】公益社団法人 千葉県社会福祉事業共助会 〒260-0026 千葉市中央区千葉港 4-5  
☎043-245-1729 FAX 043-245-9047 ✉jimukyoku@kyoujokai.or.jp URL <https://kyoujokai.or.jp/>



タップ!

## 会長挨拶

令和7年度が始まり、早いものでもう2ヶ月が過ぎました。そろそろ皆様も、年度末及び年度始めの手続きが一段落した頃ではないでしょうか。

さて、今回の共助会ニュースでは、「令和7年度の事業計画及び予算」を特集しております。

今年度は、次ページ記載の通り、①「電子申請」システムの導入、②安定した資金運用、③研修事業、④福利厚生事業の実施の4つの事業を中心に計画しております。

なかでも、①「電子申請」システムの導入は、皆様にとって、一番関心の高い事業ではないでしょうか。「電子申請」のメリットは、各施設と共助会事務局とのデータ授受の速さと正確性が向上することがあげられます。今後、施設様では、今まで郵送で授受していた共助会データを施設様のパソコンで送受信できるようになります。それに伴い、昨年値上がりしました郵便費のコスト削減も期待できます。

こちらは、予定通り来月、7月より段階的にスタートさせていただきます。施設の皆様もご不安な点が多々あると思いますが、事務局でも研修会の開催及び各種サポート等、万全の体制をとらせて頂きますので、ご協力の程よろしくをお願いします。

次に②の安定した資金運用ですが、共助会は、現在、3つの金融機関（三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、野村證券）で、約280億円（令和7年3月末現在）の運用をしております。運用は、昨年実施しました「ALM分析」にもとづき、資産運用委員会にて、ポートフォリオ（各資産按分）を決定し、理事会、総会決議を経て各金融機関に運用委託をしております。

直近の運用実績は、令和5年度(14.6億円プラス)、令和6年度(9億円プラス)と2年連続プラスで着地しておりますが、今年度は、トランプ関税の影響を受けた世界経済の減速により、低調なスタートとなっております。この運用資金は、皆様の大切な退職金の原資です。これから少しでも毀損することのないように、複数の金融機関及びコンサルタント会社等の専門家のアドバイスを受けながら、慎重な資産運用を心がけてまいります。

また、③研修事業及び④福利厚生事業の実施につきましては、日頃お忙しい皆様のお仕事に何か参考になる研修を実施するとともに、福利厚生事業として、家族または仲間との親睦を深める各種イベント（相撲・バスケット観戦及びミュージカル鑑賞等）を企画してまいりますので、是非ご期待ください。

さて、「共助会ニュース」もお陰様で、今回110号を迎えます。これもひとえに会員の皆様のご協力のおかげと考えております。引き続き、これからも「共助会」の様々な情報を発信しながら、少しでもより良い、皆様のお役にたてる「共助会」を目指して、役職員一丸となって頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。



共助会会長 井上 峰夫

## 退職共済システム（「電子申請」システム）運用説明会の予定

**第1回説明会** 6月23日(月) 13:00～15:00 … 千葉県社会福祉センター 2階 研修室A・B・C  
(千葉市中央区千葉港4-5 千葉県社会福祉センター内)

**第2回説明会** 8月1日(金) 10:00～12:00 … オークラ千葉ホテル 3階 エリーゼ  
(千葉市中央区中央港1-13-3 TEL 043-248-1111)

### 当日の持ち物

- 1 出席票
- 2 ノートパソコン  
(ご持参可能な方)
- 3 筆記用具

# 令和7年度事業計画ならびに予算

## ▶▶ 令和7年度事業計画

### 1. 「電子申請」システムの導入

共助会は、令和7年7月から「電子申請」システムを開始します。

今迄は各種様式を郵送でご提出いただいておりますが、「電子申請」システム開始後は、各施設のパソコンでデータを入力することにより、即座に共助会のシステムに反映することができるようになります。

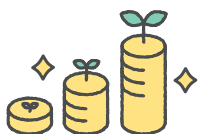
結果、より早く、より正確にデータを授受することができるようになる上、郵送コストの大幅な削減にも繋がります。

### 2. 安定した資金運用

令和6年度は、5年ぶりに実施した「ALM分析」（資産と負債のバランス分析）の結果をもとに、ポートフォリオの変更を行いました。また、運用委託先金融機関として新たに三井住友信託銀行と取引を開始しました。

その結果、競争原理が働き、信託報酬料率の引き下げを実施することができました。

今後も社会環境の変化に対応するため、定期的に専門家へ「ALM分析」を依頼し、現状分析しながら必要に応じてポートフォリオの見直しを検討していきたいと考えております。



### 3. 研修事業

現在、社会福祉事業を行っている方々の最大の悩みは、人手不足かと思えます。現在の従事者を育成し、定着させ、活気あふれる組織、団体を作り上げていくことが、より求められると思えます。

令和7年度は、「電子申請」の導入という大きなシステム変更が予定されておりますので、少しでも会員の皆様の不安を解消すべく、事務研修の実施を最優先事項とし、その他様々な研修も実施していきたいと考えております。



### 4. 福利厚生事業の実施

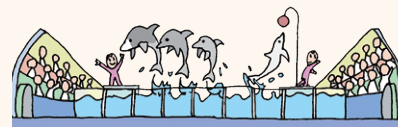
社会福祉事業に従事する皆様は、日々、忙しい毎日をお過ごしのことと思えます。

共助会は、そのような皆様が日々の仕事を離れ、ご家族とともにリフレッシュのための時間を過ごすことができるよう、これまで以上に会員交流事業の充実に努めてまいりたいと思えます。



## 公益目的事業

福祉に係る法人活動の促進と充実を図るための事業です。



#### 1. 掛金収益 2,836,000,000円

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 加入者見込み数(年間)     | 22,300名 |
| 平均掛金額(1人当たり1ヶ月) | 10,600円 |

#### 2. 退職給付金の支給等 2,500,000,000円

|                |            |
|----------------|------------|
| 退職一時金(1人当たり平均) | 1,000,000円 |
| 退職金支給人数        | 2,500名     |

#### 3. 退職年金の支給 6,110,000円

#### 4. 生活資金の貸付 10,800,000円

|       |          |
|-------|----------|
| 平均貸付額 | 720,000円 |
| 貸付件数  | 15件      |
| 利率    | 2%       |



#### 5. 福利厚生事業の利用契約等

- 福利厚生センター事業の実施  
福利厚生センター(ソウェルクラブ)との委託契約に基づき、加入促進事業と会員交流事業を実施します。
- 横浜八景島及びFUJIYAMA倶楽部の所有する施設割引券を発行

#### 6. ホームページの活用並びに機関紙「共助会ニュース」の発行

共助会事業の理解と普及促進のため、ホームページの活用と機関紙の発行(年3回)を行い、適宜適切な情報の発信に努めます。

#### 7. 関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会への参加

埼玉県が幹事県となり、ZOOMを利用したオンライン会議が予定されています。

#### 8. 研修事業の実施

「電子申請」の事務研修をスタートに、様々な研修を計画していきます。

## 会員相互扶助等事業

慶弔・災害見舞金の支給や長年社会福祉事業に貢献したことを顕彰し、その労苦に報いるための制度です。

### 1. 慶弔金等の支給

- (1) 慶祝金(結婚) 20,000円 500件 10,000,000円  
 (2) 慶祝金(出産) 10,000円 600件 6,000,000円  
 (3) 弔慰金 50,000円 14件 700,000円  
 ※加入者本人が亡くなったとき  
 (4) 災害見舞金 最低限を見込みます ※火災により加入者所有の建物が被災したとき



### 2. 長期在籍者顕彰事業

共助会への掛金納付期間が25年を迎える方185名を対象とし、長期在籍会員顕彰式を開催する予定です。  
 (顕彰状の授与ならびに記念品の贈呈)

## 法人事業

総会等の各種会議の開催、共助会事務局運営全般のことです。

### 1. 総会の開催 1回

<審議事項>

- 令和6年度事業報告・収支決算書
- 「外部理事・外部監事」導入に伴う定款変更
- 役員の改選

### 2. 理事会の開催 3回

### 3. 監査の実施 2回

(決算監査、中間監査)

### 4. 会計監査人による外部監査

### 5. 委員会の開催 5回



## その他

資金調達及び設備投資の見込みについて

### <資金調達の見込み>

当事業年度中における資金調達の予定はありません。

### <設備投資の見込み>

- 無形固定資産ソフトウェア(退職共済システム改修)  
3,000,000円



## 令和7年度 収支予算書総括表 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

### 【収入の部】

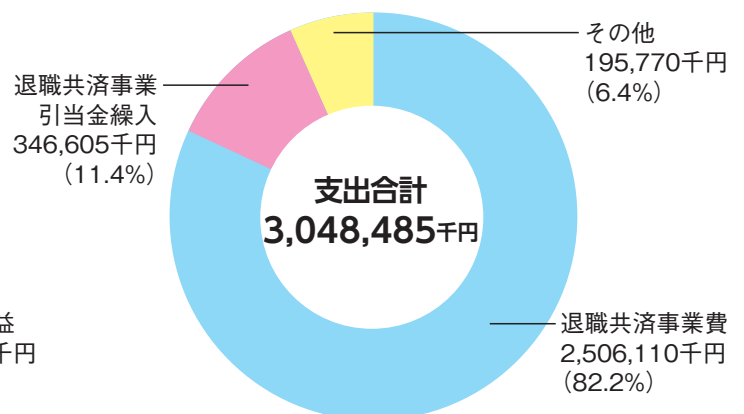
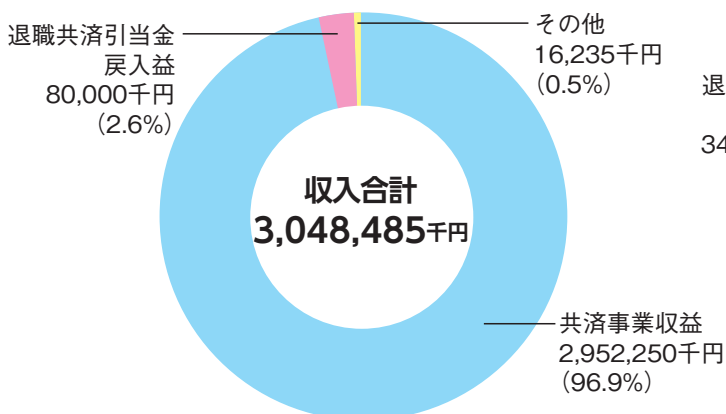
(単位:千円)

| 科 目        | 公益目的      | 会員相互   | 法人     | 合計        |
|------------|-----------|--------|--------|-----------|
| 基本財産運用益    |           |        |        | 0         |
| 特定資産運用益    |           |        | 3,735  | 3,735     |
| 共済事業収益     | 2,889,858 | 39,704 | 22,688 | 2,952,250 |
| 貸付金利子収益    | 1,800     |        |        | 1,800     |
| 業務委託収益     | 1,650     |        |        | 1,650     |
| 交流事業収益     | 9,000     |        |        | 9,000     |
| 退職共済引当金戻入益 | 80,000    |        |        | 80,000    |
| 雑収益        | 50        |        |        | 50        |
| 当期収入合計     | 2,982,358 | 39,704 | 26,423 | 3,048,485 |

### 【支出の部】

(単位:千円)

| 科 目         | 公益目的      | 会員相互   | 法人     | 合計        |
|-------------|-----------|--------|--------|-----------|
| 退職共済事業費     | 2,506,110 |        |        | 2,506,110 |
| 慶弔金事業費      |           | 16,800 |        | 16,800    |
| 長期在籍会員顕彰事業費 |           | 12,230 |        | 12,230    |
| 広報普及事業費     | 920       |        |        | 920       |
| 研修事業費       | 2,000     |        |        | 2,000     |
| 福利厚生事業費     | 10,700    |        |        | 10,700    |
| 退職共済事業引当金繰入 | 346,605   |        |        | 346,605   |
| 管理費         | 115,308   | 2,402  | 35,410 | 153,120   |
| 当期支出合計      | 2,981,643 | 31,432 | 35,410 | 3,048,485 |
| 当期収支差額      | 715       | 8,272  | △8,987 | 0         |



# 福利厚生

## ～ 福祉の仕事の要は「人」です～

少子高齢化が進んでいく中、社会福祉業界にとって、人材の確保、育成、定着は重要な課題です。今後、“限られた”労働力人口を取り込んでいくためにも、社会福祉に志を持った方が安心して働ける環境づくりを進めていく必要があります。

そこで、皆様に福利厚生センター（ソウェルクラブ）のサービス事業について、幾つかご案内させていただきます。



### 《健康増進》

- 健診費用を1人3,800円まで助成
- こころとからだの電話健康相談料が無料
- 健康生活用品を年1回お届け（全40品目から選択）

### 《リフレッシュ》

- 会員交流事業への参加（観劇、スポーツ観戦など）

### 《スキル向上》

- 講習会参加費が無料（メンタルヘルス、接遇など）
- 資格を取得した方へ5,000円相当の記念品を贈呈

### 《お祝い》

- 結婚、出産、小中学校入学のお祝い（1万円分の商品券などを支給）



利用者へのサービス向上

人材の確保、育成、定着

従事者が働きやすい環境作り

### 年会費

オススメ

**第1種会員 10,000円／年**  
（全員が対象、全サービスが利用可能）

**第2種会員 5,000円／年**  
（非常勤のみ、一部サービスのみ利用可能）

詳しくは、ソウェルクラブのホームページをご覧ください。

福利厚生センター  
ホームページ



タップ！

● 加入のお申込み、福利厚生に関するご相談は

**0120-292-711**

社会福祉法人福利厚生センター まで



## 資産運用報告

### 令和7年2月末現在 資産運用状況

（単位：円）

| 資産      | 取得価額           | 時価             | 評価損益          |
|---------|----------------|----------------|---------------|
| 国内債券    | 1,389,983,167  | 1,355,341,180  | △ 34,641,987  |
| 国内株式    | 1,089,976,928  | 1,122,539,992  | 32,563,064    |
| 外国債券    | 11,099,708,162 | 11,175,923,095 | 76,214,933    |
| 外国株式    | 9,790,867,690  | 11,151,613,520 | 1,360,745,830 |
| オルタナティブ | 3,250,239,585  | 3,769,601,728  | 519,362,143   |
| その他     | 1,555,236,529  | 1,555,454,525  | 217,996       |
| 資産合計    | 28,176,012,061 | 30,130,474,040 | 1,954,461,979 |

時価総額 30,130,474,040  
要支給額 30,404,134,742

充足率 =  $\frac{\text{運用資産の時価総額}}{\text{要支給額}}$

**99%**

世界経済は、今年に入ってから底堅い成長を維持してきました。しかしながら、米国大統領による相互関税の発表以降、世界は大変な混乱に陥っています。

特に、米国は中国に対して、相互関税を125%に引き上げ、追加関税20%とあわせて、計145%の関税をかけるという異常な事態となりました。一方、中国も米国製品への関税を125%に引き上げるなど、相互に高い関税を掛け合う消耗戦の様相を呈してきました。このことが、新たな貿易戦争への警戒を呼び、世界の株式市場は大きく下落しました。

あわせて、動揺した投資家による米国離れが加速し、投資マネーが米国株から流出しました。今迄の「米国株1強」の時代は終わり、投資家は、中国や欧州に目を向け始めています。ちなみに、香港のハンセン指数は、2割も上昇しています。これは、中国の人口知能（AI）開発企業のDeepseekの台頭が大きく影響していると思われます。このように、世界経済も非常に不透明な時代に入ってきました。

それに伴い、国内経済も不確実性が増えています。しかしながら、2025年の春闘では、賃上げが着実に進んでおり、賃金、物価の上昇を受けて、日銀は金融緩和の調整を緩やかに進めていくことでしょう。

このような環境下の中、共助会の2月末の充足率は99%を維持しております。3月以降は、株安の影響を受け、一時的に充足率は下がる可能性があります。今後も引き続き分散投資に努め、長期的視点にて、着実かつ安定的な運用を心がけてまいります。